

備前市事務事業評価シート

(平成21年度事業)

事業の概要			
事業開始年度		昭和63年度	
総合計画	大項目	基本目標	04 もてなしの心とたくましさのあるまちづくり
	中項目	基本施策	01 豊かな食を支えるまちづくり
	小項目	施策	03 水産業
事務事業名		04	漁村地域活性化事業
根拠法令・例規等		備前市地域振興活性化事業補助金交付要綱・備前市多目的集会所施設設置条例・同施行規則	
担当課(室)		農林水産課	
職・氏名		課長補佐・濱山 一泰	
電話		0869-64-1836	
このシート作成に要した時間		2.0 時間	

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	都市住民等
目的(何のために)	備前市のキャッチフレーズ“海とみどりと炎のまち”の“海”をPRする。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	交流の促進

事業の実績			
細事業名	事業の説明	優先度	
サンバースフェスティバル・備前 鯖祭	5月第3日曜日、日生町漁業協同組合五味の市会場及び伊里漁業協同組合真魚市会場において、サワラを中心に生鮮魚や近隣市町の特産品販売や魚のつかみ取り、あなご釣り等のイベントを開催。平成21年度補助額は2,100千円。		
目的を達成するために実施した事業	都市漁村交流支援事務	季節の魚介類をアピールし、地域の活性化及び販売促進を支援。	
	日生うおしま会館管理運営事業	平成24年3月31日まで日生町漁業協同組合との間で指定管理者協定書を締結している。指定管理料の額は、0円である。	
	頭島かた舟会館管理運営事業	平成24年3月31日まで日生町漁業協同組合との間で指定管理者協定書を締結している。指定管理料の額は、0円である。	

事業費等		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績	
決算額	直接事業費		3,150	2,300	2,100	
	必要人員(人件費)	千円	0.85人	6,425	0.64人	5,536
	事業費計		9,575	7,836	6,588	
	国県支出金		300			
	受益者負担					
	繰入金	千円				
その他()						
一般財源			9,275	7,836	6,588	
受益者負担比率	%		-	-	-	
結果指標名		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績	
出店団体数	説明		サンバースフェスティバルへ出店した団体数			
結果指標量	団体		19	23	23	
対前年比	%		-	121.1%	100.0%	
活動コスト	円		6,475,854	7,860,515	6,608,436	
単位当たりコスト			340,834	341,762	287,323	

事業の成果					
成果指標名	年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度目標値
サンバースフェスティバル・備前 鯖祭PRポスター掲示依頼件数(市内は除く)	目標値(A)	182	179	279	前年度を下回らないように
	実績値(B)	179	279	285	到達目標値
	達成率(B/A)	98.35%	155.87%	102.15%	毎年
成果指標設定の考え方・式や説明					
市外から多くの来場者が訪れてもらえるように、県内のみならず関西圏域へもポスター掲示の依頼をする。					

事務事業の評価		評価	
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 <A-E> D
	市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 <A-E> D
有効性の評価	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 <A-E> C	

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性の評価を行って下さい

事業費や単位当たりコストは留意しながら効率性の評価を行って下さい

留意事項の目的が、その数値目標を達成する下果指標

進行年度(H22年度)の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明	昨年度同様である。						

総合評価	
平成27年度以降に普通交付税が減額調整されるなど、今後の本市の財政状況及び効率性の観点から、イベントの統廃合等を検討するなど大幅な見直しが必要である。	評価区分 <A-E> D

平成23年度の方向性及び取組目標							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
取組目標	日生うおしま会館、頭島かた舟会館を指定管理者である日生町漁業協同組合への譲渡を目指す。						

